

1. 科目名 (単位数)	第二言語習得理論演習 (2単位)	3. 科目番号	EJJP3141
2. 授業担当教員	李 芝賢		
4. 授業形態	講義、演習 (グループワーク、ディスカッションなど)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「第二言語習得理論」を必ず受講しておくこと。		
7. 講義概要	第二言語習得理論を踏まえ、更なる実践的な教育能力を身につけると共に、研究能力養成を目指す。本講座では、英語教育や日本語教育などの外国語教育と第二言語習得研究の間にどのような関係があるのかを考えると共に、第二言語習得について、どのような研究や報告がなされているのか知見を深める。そのための方法として、紹介した論文や自分が興味のある論文を選び、それについてまとめ、発表する。		
8. 学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・第二言語習得についての論文を読み、最近の研究の動向を知る。 ・外国語教育の場で第二言語習得がどのように応用されているか考える。 ・外国語学習体験について第二言語習得を通して考える。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回授業のはじめと終わりに学習内容の確認を行う。 2. CiNiiなどで検索・選択した論文についてレジюмеを作成し、8回目の授業前に提出する。9回目以降は発表を行う。その後、発表会での議論・コメントを踏まえ、自分の研究成果を最終レポートにまとめる。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 必要な教材については資料を配布する。</p> <p>【参考書】 大関浩美著『日本語を教えるための第二言語習得論入門』くろしお出版、2010。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 第二言語習得についての論文を読み、最近の研究の動向について自分のことばで説明できるようになったか。 2) 外国語教育の場で第二言語習得がどのように応用されているかについて説明できるようになったか。 3) 外国語学習体験について第二言語習得を通して考えたことを説明できるようになったか。 <p>○評定の方法</p> <p>以下の点を総合して評価する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業への参加態度 総合点の30% 2 試験 (小テスト・期末テスト・口頭発表試験 等) 総合点の30% 3 提出課題 (レポート等) 総合点の40% <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得は基本的に認められない。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	日本語教育の現場での応用に重点を置いて第二言語習得理論を学ぶ。第二言語習得の過程ではどんなことが起こるのか、その理由は何か、そして言語教育にどのような示唆を与えるのかを検討する。ぜひ、自分の第二言語習得の経験と照らし合わせながら授業を受けてほしい。		
13. オフィスアワー	初回の授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業概要、CiNii や Google Scholar などによる論文検索法の説明、レジюмеの書き方の説明	事前学習	これまで学んだ第二言語習得論について復習する。
		事後学習	興味のある論文を検索し、8回目の授業前にレジюмеが提出できるように準備する。
第2回	「第二言語習得論」について 配付プリント① 課題1. 第二言語習得に関する論文を読み、レジюмеを作成	事前学習	配布プリント①を熟読しておく。
		事後学習	第二言語習得論の背景をまとめる。
第3回	「中間言語」について 配付プリント② 課題2. 中間言語に関する論文を読み、レジюмеを作成	事前学習	配布プリント②を熟読しておく。
		事後学習	中間言語の特徴をまとめる。
第4回	「母語の影響」について 配付プリント③ 課題3. 誤用に関する論文を読み、レジюмеを作成	事前学習	配布プリント③を熟読しておく。
		事後学習	母語干渉の例をまとめる。
第5回	「習得順序と発達順序」について 配付プリント④	事前学習	配布プリント④を熟読しておく。
		事後学習	習得順序と発達順序の特徴をまとめる。
第6回	「インプット・アウトプット」について 配付プリント⑤	事前学習	配布プリント⑤を熟読しておく。
		事後学習	インプット・アウトプットの特徴、および自らはどのようにインプット・アウトプットを行うかについてまとめる。
第7回	「文法を教える効果」について 配付プリント⑥	事前学習	配布プリント⑥を熟読しておく。
		事後学習	文法を教える限界とその原因について例をあげながら記述する。
第8回	レジюме提出、内容の確認	事前学習	発表したい論文を特定し、レジюмеを作成する。
		事後学習	レジюмеを修正・完成する。
第9回	プレゼンテーション①準備 (課題1に対するコメント)	事前学習	課題レジюмеに目を通し、プレゼンテーションに向け準備を行う。
		事後学習	レジюмеの不備はなかったかを再確認し、コメントされた内容をまとめる。

第10回	プレゼンテーション②準備 (課題2に対するコメント)	事前学習	課題レジュメに目を通し、プレゼンテーションに向け準備を行う。
		事後学習	レジュメの不備はなかったかを再確認し、コメントされた内容をまとめる。
第11回	プレゼンテーション③準備 (課題3に対するコメント)	事前学習	課題レジュメに目を通し、プレゼンテーションに向け準備を行う。
		事後学習	レジュメの不備はなかったかを再確認し、コメントされた内容をまとめる。
第12回	プレゼンテーション④ (課題1について)	事前学習	プレゼンテーションが滞りなく実施できる様準備を行う。
		事後学習	発表について議論、コメントする。
第13回	プレゼンテーション⑤ (課題2について)	事前学習	プレゼンテーションが滞りなく実施できる様準備を行う。
		事後学習	発表について議論、コメントする。
第14回	プレゼンテーション⑥ (課題3について)	事前学習	プレゼンテーションが滞りなく実施できる様準備を行う。
		事後学習	発表について議論、コメントする。
第15回	これまでの内容の振り返り、最終レポートの準備	事前学習	学習内容を復習し、疑問点を明らかにしておく。
		事後学習	配布プリントや課題レジュメを復習し、最終レポートを作成する。
期末試験			